

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：西難波第2

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------|--------|--|---|--------------------------------------|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 一面フロアの部屋となっており、半分で仕切れるようにもできる。又、別室もあり個別課題として使用できるため十分なスペースが確保できている。 | どちらともいえないが人数が多い日は狭いと感じる。 | 人数に合わせて机の配置や物の整理など日頃から工夫し十分なスペースを確保していけるよう改善する。 |
| | 2 | 職員の適切な配置 | 週の平均基準は守られている。 | 人員は確保できていると思うが把握はしていない。 | 人員不足の日は他店舗よりヘルプ要請を事前に行い適切な人員配置に努めていく。 |
| | 3 | 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | バリアフリー化となっており、視覚的に表示できるようにしたり、職員間で伝達し工夫している。 | 特に不満や要望なし。 | 障害別に合わせたバリアフリー構造ではあるが、設備等の危険認知度の把握と情報の共有化をしていく。 |
| | 4 | 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 毎日、清掃を行っているため清潔は保たれている。生活空間の確保もできている。 | 特に不満や要望なし。 | より一層清潔を保ち、利用者様の活動に支障がないよう楽しみが持てる空間づくりの徹底を心がける。 |
| 業務改善 | 1 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 各自で業務改善を取り込み、取り込んだ業務改善を職員間で会議を毎日実施している。 | | 改善すべきことは職員間で情報を共有しながらより良い支援が出来るように努める。 |
| | 2 | 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 他店舗との情報交換や会議など行われているため実施されている。 | | 他店舗との情報を共有することで、改善や職員の育成にも努める。 |
| | 3 | 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 定期的な研修が行われているため確保されている。 | | 研修で学んだことを職員間で共有し資質向上に向けて取り組んでいきたい。 |
| 適切な支援の提供 | 1 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 定期的に面談を行い個別でアセスメントを行っている。また職員間での話し合いも行い、計画をたてている。 | 特に不満や要望なし。その都度なにかあれば相談ができ、要望に応じてくれる。 | ミーティングなどの機会を増やし、専門職も交えた職員全体で利用者に対するサービスのアセスメントを行うこともしていきたい。 |
| | 2 | 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 担当するプログラムを作成し会議などで共有し作成している。 | | 保護者からの要望も十分に配慮して今後も子供に応じた計画を作成し取り組んでいきたい。 |
| | 3 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 実施している | | 改善点を踏まえたうえで、今よりも明確にしたり細かい部分まで目を向け支援内容を考えていく |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|--------------|--------|--|---|--------------------|---|
| 適切な支援の提供(続き) | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 実施されている | 特に不満や要望なし。 | 適切な支援ができているか改善点を踏まえ今後も実施していく。 |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 週・月単位で集団活動や野外活動など積極的に取り込んでいる。 | | 今後も積極的な集団活動を取り入れ行い利用者の自立に向けた支援を行っていく。 |
| | 6 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | それぞれにしかできないことや学校でできないことなどを計画し、実施できるよう事前に準備をしている。集団で楽しめるようカードゲーム、モノづくり、クッキング、プロジェクトなど様々なプログラムを取り入れている。 | | 利用者や保護者の要望に応えるようにプログラムを立てていく。 |
| | 7 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | プログラムは固定しているが利用者に合わせてプログラムの変更など臨機応変に対応している。また季節に合ったプログラムは工夫し実施している。 | | 季節に応じた行事やプログラムなど利用者に興味や関心をもってもらえるよう支援していく。 |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 職員間の連絡事項などは毎日の会議で伝えられているため、プログラムの確認も情報共有は実施されている。 | | 今後も継続し情報の共有もれがないようにしていく。 |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 退勤時間が異なるため、ノートなどに残し、翌日の打ち合わせで情報の共有をしている。 | | 引継ぎや連絡がある場合は申し送りノートの活用を十分に行い情報の共有や伝達を怠らないようにしている。 |
| | 10 | 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 申し送りノートを活用し記録をつけている。支援の検証も実施している。 | | 申し送りノートに記入するのみにならず、情報共有や改善、検証結果等の詳細をノートに明記している。 |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 半期ごとに実施しており、必要に応じて計画の見直しをしている。 | | 今後も継続していく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|---|------------------------------|-----------------|---|
| 関係機関との連携 | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | 相談支援員との連携をしている。 | | 電話だけではなく直接モニタリングを行うなど細かいことにも共有していく。 |
| | 2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | 他店で対応。 | | 必要性があれば対応検討 |
| | 3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | 他店で対応。 | | 必要性があれば対応検討 |
| | 4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 情報共有は少ないが学校への訪問や相談などは実施している。 | | 今後も実施していく。 |
| | 5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | 他店舗との情報共有に努めている。 | | 今後も実施し他店舗とも共有していく。 |
| | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 神戸市の専門機関で実施されている研修に参加している。 | | 今後も積極的に研修など受講促進を図る。 |
| | 7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 現在は実施していない。 | 学校以外での交流はないと思う。 | 地域の保育園や学校と連携を取り、交流する機会をつくれるように努め、実施できるように努めていく。 |
| | 8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 地域交流に多く参加している。 | | 今後も交流を深めていきたい。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------------|--|---|--|--|
| 保護者への説明責・連携支援 | 1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 説明している。 | 特に不満はない。 | 保護者様への理解度、負担に合わせた支援の説明を今後も行い実施していく。 |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 実施している。 | 特に不満はないが一部どちらともいえない記載あり。 | 支援内容をしっかりと理解し保護者様へ明確な説明を実施していく。 |
| | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 保護者様のニーズに合わせてアドバイス程度で行っている。 | 特に不満はないが一部希望あり。 | 専門的知識の向上のため取り組んでいけるよう努める。 |
| | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 連絡帳やみかん通信で日々の活動内容・課題内容・様子などを保護者様へ伝達している。 | 連絡帳の写真やみかん通信などで情報が得られている。 | 今後も様子や状況を把握し、観察や見守り等強化し、情報を保護者様へ伝達していく。 |
| | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 送迎時や電話等で相談がある場合、その都度対応している。 | 特に不満はない。 | 今後も継続し更なる情報共有につとめる。 |
| | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 開催は少ないが保護者参加可能なイベントを行っている。 | イベント等には参加しているが、保護者の連携は特に求めているという意見もある。 | 保護者同士の機会を持てるように行事やイベントなど今後も実施していく。 |
| | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 迅速に対応している。 | 特に不満はない。 | クレームがあった場合の対応は迅速かつ適切に対応しクレームにつながる不適切行為がないよう職員間で周知していく。接遇研修も実施している。 |
| | 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 利用者の感情や意思に対する共有・共感に努めている。 | 特に不満はない。 | 利用者に合わせ保護者との共有・共感を図り、より良い支援に結びつけていきたい。 |
| | 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | みかん通信(月の行事予定)や連絡事項など実施しており、メールや電話で前日に再度連絡している。 | 特に不満はない。 | 今後も継続しみかん通信の充実に努めていく。 |
| | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 個人情報に記載された記録物は個々にファイリングし厳重に保管している。近隣にデイを利用している利用者様が知られたくないという保護者様の要望にも対応している。 | 特に不満はない。 | 書類関係だけではなく保護者様の要望にも対応し管理の徹底を図っていく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|--|--|--------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 職員や保護者への周知は実施している。感染症対応に関しても職員間や専門機関からの情報共有に努めている。 | 特に不満はない。 | 各マニュアルの見直しを定期内に行い、職員や保護者への周知を徹底する。 |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 災害時の防災避難訓練は実施している。災害用非常持ち出し物は常備している。 | 特に不満はないが、わからないという回答もあった。 | 定期的な防災訓練の実施、防災用非常用品の点検と整備を行う。 |
| | 3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 社全体で防止委員会を定期的開催している。対応策を会議、研修している。 | | 今後も取り組み実施を行い職員間及び他店舗との情報共有に努める。 |
| | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 身体拘束はない。 | | 対応策は拠点会議や研修で情報共有していく。 |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 食物アレルギーの有無の把握は十分にできている。対応についても情報共有を行っている。 | | 医師との直接的な情報共有がとれるように努めアレルギーのある利用者様に対する。主治医の指示書作成と適切な対応に努める。 |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | 実施されており、日々の打ち合わせの中で情報共有及び分析、改善策の対応の検討を行っている。 | | 今後も徹底し、事故防止に努めていく。また細かいところまで注意し改善していくよう努める。 |